

これまでの経緯と取組内容について ～日本一長いみやぎの運河群～

宮城県 土木部 河川課

令和6年9月4日

○目次

- 1 貞山運河再生・復興ビジョンの策定
- 2 本会議の目的と関連会議との相互関係について
- 3 これまでの取組状況
- 4 民間団体等の意見交換の概要
- 5 学識者の意見を聴衆
- 6-1 今後の取組の検討
- 6-2 早期検討ができる取組のうち、R6年度実施可能な内容
- 7 今後のスケジュール(案)

1 貞山運河再生・復興ビジョンの策定

平成25年5月 「貞山運河再生・復興ビジョン」策定

- 沿岸地域の復興において“目標”とする姿や、それを実現するための仕組みを示す“指針”
- 様々な主体(国・県・市町・民間等)による復興事業が、“調和”をもって推進されるための“羅針盤”の役割を担う。

【基本理念】

運河群の歴史を未来へと繋ぎ、運河群を基軸とした“鎮魂と希望”の沿岸地域の再生・復興

【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築

【期別の目標】

- 短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧、復興理念の共有化と参加
- 中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と、広域的な連携の拡大
- 長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ、100年先を見据えたビジョンの発展

- ① 歴史的な遺稿の保存を実施（釜閘門調査）【平成24年～】
- ② 粘り強い構造の堤防を整備（まちづくりと連携した堤防整備）【平成25年～令和3年】
- ③ 自然環境と調和した施設の復旧を実施（松林の保全、覆土・緑化・桜植樹など）
【平成24年～】

- ④ 民間団体等による運河を活用した様々な取組が推進
（集客施設整備、イベント開催、舟運など水面利用、歴史の継承など）【現在地】

中期～長期の目標に向け、さらなる取組を推進

2 本会議の目的と関連会議との相互関係について

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づき、これまでは、復旧・復興事業推進のため、官主体の「貞山運河再生・復興会議」において推進していましたが、復旧・復興事業が完了したこれからは、さらなる地域の発展に向け、**地域主体の継続的な推進体制への橋渡しが必要であることから、新たな推進体制を構築します。**

みやぎの運河群 利活用推進会議 令和4年6月設置

学識経験者・関係行政機関による情報共有及び意見交換を通じて、運河群沿川における広域的な連携を推進するための今後の取組の方向性やあるべき姿について議論を実施します。

みやぎの運河群 連絡調整会議 令和4年12月設置

運河群沿川で活動している**民間団体等**の取組紹介・意見交換により、**参加者間相互で情報を共有**し、それぞれの活動に生かすとともに、**活動拡大に向けた連携**を探ります。

※みやぎの運河群利活用推進会議は、連絡調整会議の各構成団体の取組の進捗に応じて必要な場合に開催する。（R6.3通知）

※情報共有の迅速化を図るため、連絡調整会議後に結果をとりまとめ、学識者へ報告し、助言いただき、再度連絡調整会議の構成団体へ共有する

【会議内容】

運河群沿川の活動・取組紹介を学識経験者へ共有
助言・アドバイスを連絡調整会議へ共有

【会議内容】

運河群沿川で活動している民間団体等の取組紹介・意見交換により、
参加者間相互で情報を共有

【期待される効果】

現状の取組内容を学識者へ報告・意見を聴く（助言）
・広域的な連携や今後の方向性などについて、学識者から助言を受ける。
地域主体の広域的な取組や連携を推進する。（実践）
・民間団体等の取組状況を踏まえ、学識者の助言を共有しながら、関係行政機関による連携を図り、地域主体の広域的な連携を推進する。

【期待される効果】

他団体や行政機関の取組を知り、それぞれの取組に活用。（知る）
・同地域、地域間、類似の取組、行政機関とおし、民間団体とおし、行政機関と民間団体など。
様々な組み合わせ（マッチング）の連携による活動拡大。（連携）
・みやぎの運河群全体での連携。
・行政機関は、可能な支援策について検討。
まずは、各団体ができること（興味のあること）から始めていきます

**歴史を未来へとつなぎ、みやぎの運河群沿川の継続的な発展へ
「地域主体の継続的な推進体制」**

3 これまでの取組状況

取組状況の履歴

令和4年 6月	みやぎの運河群利活用推進会議	設立
令和4年12月	みやぎの運河群連絡調整会議	設立
令和5年 2月	第2回 みやぎの運河群利活用推進会議	
令和5年10月	第2回 みやぎの運河群連絡調整会議	
令和5年12月	利活用推進会議の学識者に意見聴衆、とりまとめ	
令和6年 3月	みやぎの運河群連絡調整会議の構成員、意見フィードバック	
令和6年 9月	第3回 みやぎの運河群連絡調整会議	

構成員（参画いただいている民間団体）

- ① NPO法人ひたかみ水の里
- ② すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会
- ③ 貞山・北上・東名運河研究会
- ④ 貞山運河「御舟入堀」プロジェクト
- ⑤ 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会
- ⑥ 貞山運河倶楽部
- ⑦ 一般社団法人 貞山運河ネット
- ⑧ 新貞山ローイングクラブ



4 民間団体等の意見交換の概要

※分類ごとに集約しております。

情報共有

- ・メールを活用し、タイムリーな情報共有を図ってほしい。

情報発信

- ・観光資源として、運河沿いはたくさん美味しいものがあります。県全体で一緒にPRしてほしい。

連絡調整会議

- ・ざくばらんに会話できる懇親会を開催してはどうか
- ・会議場所を県庁ではなく、運河群沿いでの会議の開催してはどうか。

サポート

- ・観光庁等の国の補助金の情報提供等いただきたい。
- か。・宮城県後援(名前だけでもいいので)といった形のイベントを開催し、その中で参加可能な民間団体が実施していく体制を御検討いただきたい。
- ・市や観光部局等も含め、県全体としての枠組の検討はいかがか。

連携・一体感

- ・蒲生御蔵について仙台港の築港によりふさがれてしまった経緯がある。
現在もその跡地はあるので、せめて御蔵の説明看板等の設置を御検討いただきたい。

環境

- ・北北上運河に関して、一部の水深が浅い箇所があり、中洲のようになっている。
水質も懸念している。
- ・今年度県で貞山運河(新堀)で実施しているように北北上運河にて水質調査を検討いただき、調査結果をオープンにしてはいかがか。

5 学識者の意見を聴衆

【意見照会の概要】

- 第2回みやぎの運河群連絡調整会議の資料及び民間団体等の意見交換の内容について、メールを通じて、みやぎの運河群利活用推進会議の構成員である学識者へ報告を実施。
- 学識者より、自由な御意見を伺ったもの。

学識者からの意見 ～キーワードに集約～

情報共有

メンバー用メーリングリスト
交流プラットフォームの構築
計画段階からの情報共有
地域情報・既存データの共有

情報発信

みやぎの運河群として一体感のある取組の発信
海外に向けた情報発信
情報マップの作成
自治体・東北観光推進機構とのHPリンク
外国の運河との「姉妹運河」

連絡調整会議

発言時間の確保
情報交換に加え課題の解決むけた動きを
連携協力したイベントなどの継続実施

※学識者からの意見（原文）は、別添資料のとおり。

サポート

県の後援名義の提供
補助金の情報提供の継続
事務局と観光部局との連携

連携・一体感

みやぎの運河群を地域のブランドに
(ex.地場産品と連携)
みやぎの運河群の名称再考・公募
統一ロゴ・シンボルマークの作成
歴史・特徴・課題・目標などの明確化
個別でも成功モデルを構築する

地域主体

地域自らが運河を楽しむ
他の観光資源と運河群の組合せ【歴史遺産】
産業資源（養殖）としての利活用
教育コンテンツへの応用

環境

水質は運河群の共通課題

6-1 今後の取組の検討

地域間で 早期検討ができる取組 ※実施済み含む

- 情報共有
 - ・メーリングリストの作成
 - ・交流プラットフォームの構築
 - ・メール活用によるタイムリーな共有
 - ・計画段階からの情報共有
 - ・地域情報・既存データの共有
- 情報発信
 - ・一体感のある取組の発信
- 連絡調整会議
 - ・情報交換に加え課題の解決に向けた動きを連携協力したイベント等の継続実施
 - ・懇親会、現地開催
- サポート
 - ・県の後援名義の提供
 - ・補助金の情報提供の継続
- 地域主体
 - ・教育コンテンツへの応用
- 環境
 - ・水質

地域間で 継続して検討していく取組

- 情報発信
 - ・海外に向けた情報発信
 - ・情報マップの作成
 - ・自治体・東北観光推進機構とのHPリンク
 - ・外国の運河との「姉妹運河」
- サポート
 - ・事務局と観光部局との連携
 - ・観光含めた県全体でのPR活動
- 連携・一体感
 - ・みやぎの運河群を地域のブランドに。
(ex.地場産品と連携)
 - ・名称の再考・公募
 - ・統一ロゴ・シンボルマークの作成
 - ・歴史、特徴、課題、目標の明確化
 - ・個別の成功モデルの構築
 - ・説明看板の設置検討
- 地域主体
 - ・地域自らが運河を楽しむ
 - ・観光資源と運河群の歴史遺産の組合せ
 - ・産業資源（養殖）としての利活用

6 - 2 早期検討ができる取組のうち、実施済の取組について

実施状況の取組

※実施済み含む

■ 情報共有

→メーリングリストの作成によるメール活用によるタイムリーな共有を実施する。

■ 情報発信

→一体感ある取組の発信

- ・令和6年7月8日～19日まで宮城県図書館にて運河群パネル展示を実施した。
- ・イベント情報の掲載をHPを活用し、実施する。

■ 環境

- ・水質調査の経過観察、傾向観察を実施した。
- ・R5年度分の調査結果を地元へ説明を実施した。

■ サポート

- ・県の後援名義の提供

→[後援名義の使用申請について - 宮城県公式ウェブサイト \(pref.miyagi.jp\)](https://pref.miyagi.jp)

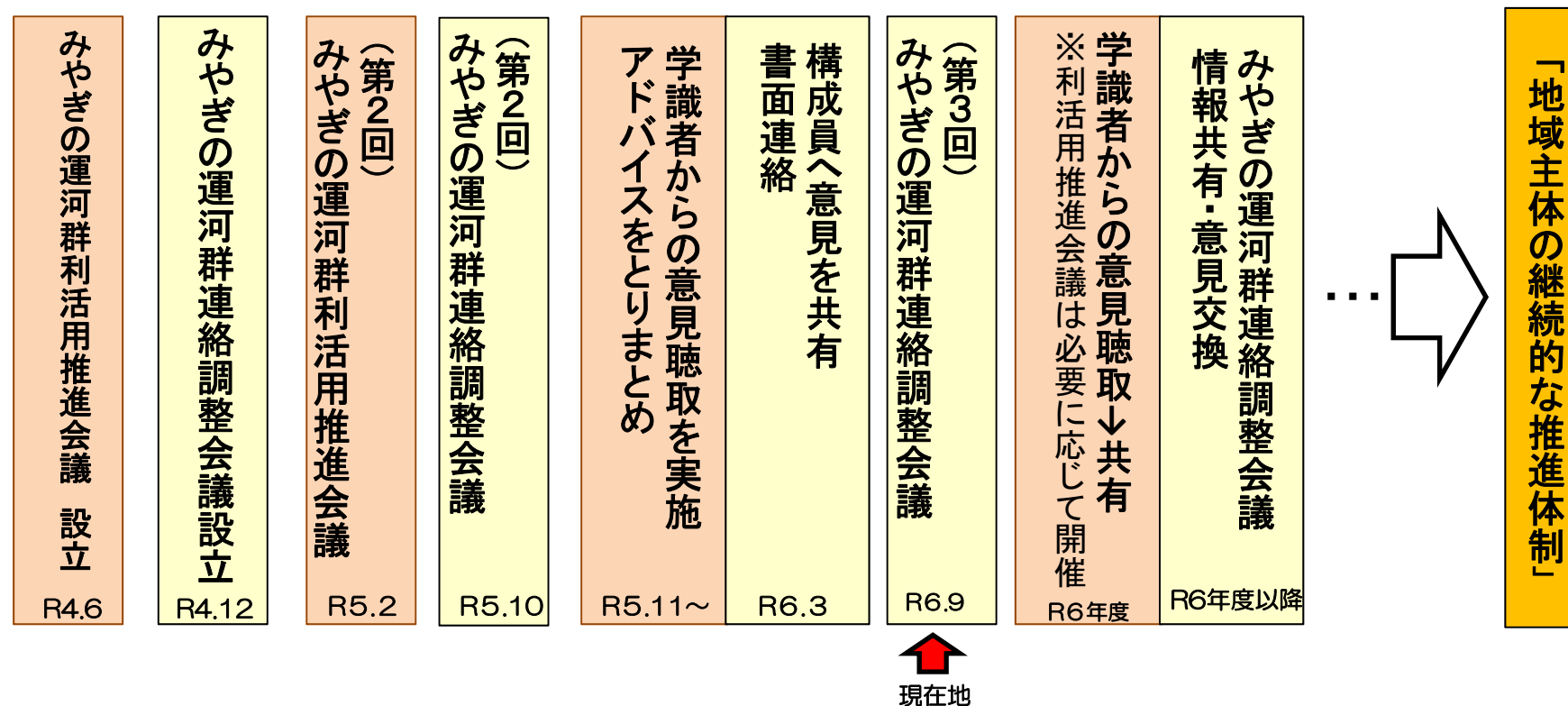
上記のとおり、後援名義の申請は可能です。手続きについて確認願います。

⇒後ほど、各種イベントや今後の予定等を発表頂きます。

7 今後のスケジュール（案）

「みやぎの運河群利活用推進会議」と「みやぎの運河群連絡調整会議」での両輪でみやぎの運河群沿川の継続的な発信に向けた取組を推進します。

■会議開催のスケジュール（案）



- ・情報共有の迅速化を図るため、連絡調整会議後に結果をとります、学識者へ報告し、助言いただき、再度連絡調整会議の構成団体へ共有することで合意を得た。（R6.3通知）
- ・みやぎの運河群利活用推進会議は、連絡調整会議の各構成団体の取組の進捗に応じて必要な場合に開催する。（R6.3通知）